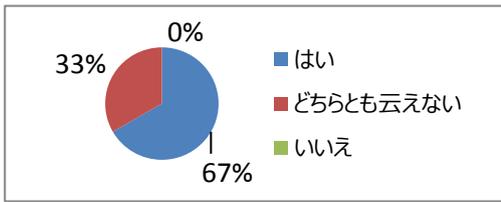


放課後等デイサービス 自己評価 集計結果 (職員用)

平成28年度

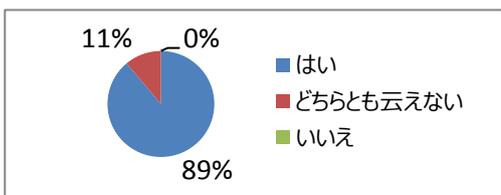
設問1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか



<意見>

- ・ 広い運動スペースがあれば活動の幅が広がる
- ・ 共有するためのルール作りが必要
- ・ ひとひとりの場所がきちんと確保されている
- ・ 個別と共有スペースを分け、必要なルールがある
- ・ 利用する子どもの年齢の割合によっては狭い場合もある

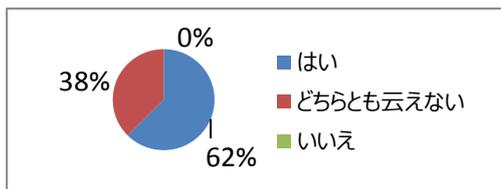
設問2 職員の配置数は適切であるか



<意見>

- ・ 職員に余裕を持たせる為の配慮が必要
- ・ 全員に支援行き届かせることが出来ている
- ・ 適切になりつつある

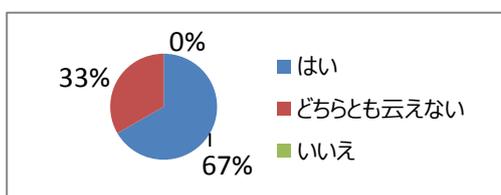
設問3 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか



<意見>

- ・ 手すりはあるが階段の角にクッション素材をつけてみては
- ・ 階段はあるが、訓練のひとつとして考えても良いのではない
- ・ こどもの都合> 大人の都合で設置することが必要
- ・ 2階は利用者主体で工夫されていると思う

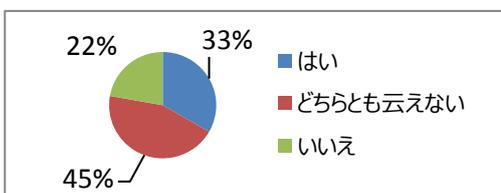
設問4 業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか



<意見>

- ・ システムはあるがあまり活かされていない、活かす自覚が必要
- ・ 目標設定は細かく行なわれていると思う
- ・ 目標設定とその実施には力を入れているが、振り返りが曖昧な場合がある
- ・ 節目や毎月の会議で職員全員が参画している
- ・ 定期的にケース会議を開いている

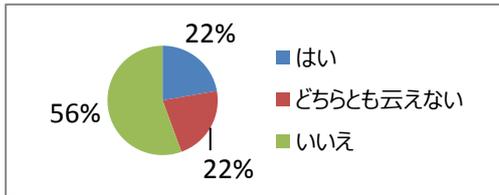
設問5 保護者向け評価表を活用する等により保護者の意向等を把握し、業務改善に繋げているか



<意見>

- ・ 今後、年1回はアンケート調査があっても良いと思う
- ・ 調査はしていないが、保護者への聞き取り等で意向を把握している
- ・ 保護者の意見があれば改善し、利用者主体の目線も持ち続けている
- ・ 普段保護者からの率直な意見がなかなか聞けないので継続が必要
- ・ 見学会とアンケートを行なったことがある

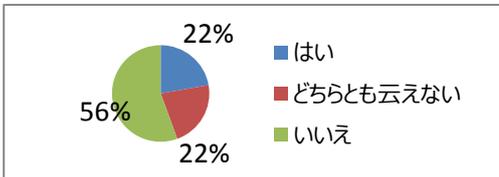
設問6 この自己評価表を、事業所の会報やHP等で公開しているか



<意見>

- ・ 保護者が判りやすく安心できると思うので公開すべき
- ・ 外部への発信方法のノウハウを得る必要あり
- ・ 公開することにより本音を話しても良いと感じる保護者もいると思う
- ・

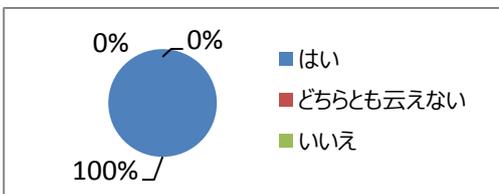
設問7 第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善に繋げているか



<意見>

- ・ 管理責任者が職員の支援を1日通してチェックして評価するシステムを望む
- ・ いつでも第三者に評価されても大丈夫な支援を行なっていると思う
- ・ 実態不明のため、行なっているなら公表していく
- ・ 評価結果については真摯に受け止めて迅速に改善に努めていると思う
- ・ 行なっているかどうか判らない

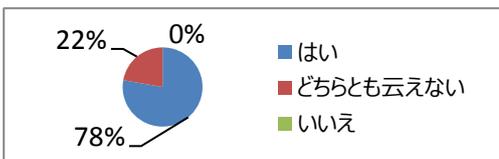
設問8 職員の資質の向上を行なう為に研修の機会を確保しているか



<意見>

- ・ 研修で得たものを形にしていくための方法と期間の検討が必要
- ・ 外部研修の機会等が確保されている
- ・ コミュニケーションの重要性にポイントを置いて実施している
- ・ 日々の職員配置に厳しい中で研修機会をもらえている

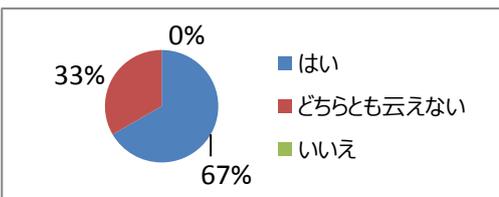
設問9 アセスメントを適切に行ない、子どもや保護者等のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか



<意見>

- ・ 一部の職員だけが行なうのではなく、全員が出来るようにすることが必要
- ・ 保護者の意向を聞いた上で計画出来ていると思う
- ・ 児童発達管理責任者との面談だけで行なう為、多角的視点のチェックが弱い

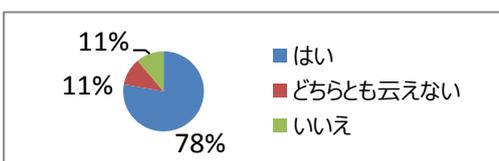
設問10 子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



<意見>

- ・ 一部の職員だけが行なうのではなく、全員が出来るようにすることが必要
- ・ 標準化された形はないが、ひとりひとり異なる物差しで見ることが出来る
- ・ 検査という形であれば1回では判らないと思う

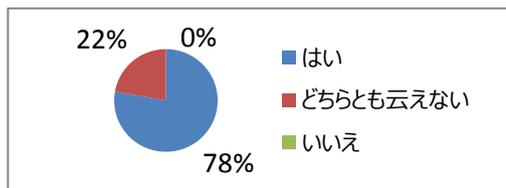
設問11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか



<意見>

- ・ 一応行なっているがコミュニケーションがうまく取れていない
- ・ 一部の職員でしか行われていない為、共通認識が必要
- ・ 細かい部分も行われていると思う
- ・ 責任者制で役割分担するも一方な関係が強く、他の方法の検討も必要
- ・ 関係者全員の意識付けをどう強化していくかが課題である

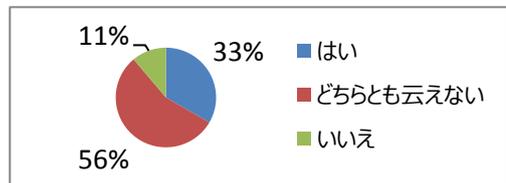
設問12 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか



<意見>

- ・ さらにいろいろなバリエーションを増やすことが必要
- ・ ひとつのもの、同じものにならないよう工夫できている
- ・ 職員間で意識差がかなり大きい
- ・ 事前に記録を見て、同じにならぬよう気をつけている

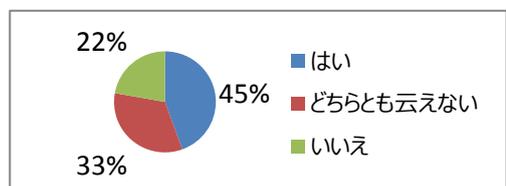
設問13 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



<意見>

- ・ 細やかに出来ていないが、平日は意識して設定している
- ・ 日によって目標設定を明確にし、それに応じた活動を行なうことが必要
- ・ 休日には外出等を行なっている
- ・ 外出活動以外にもワークショップ等の日があっても良いのでは

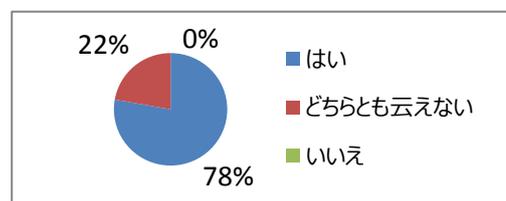
設問14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか



<意見>

- ・ やりたくないことでもやらなければならない場面もある為、出来る範囲で数人で同じ活動をする時間があっても良い
- ・ 集団での活動は考えることが難しくどのようにすれば良いかが判らない
- ・ 時間が短く、子どもによって得手不得手が異なる為難しい
- ・ 集団活動を行なう為の職員間の打ち合わせの時間の確保が必要
- ・ 必要性は感じているが、配慮が多く困難な場合がある

設問15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか



<意見>

- ・ 支援内容は各担当に一任されている
- ・ 開始前に打ち合わせ・伝達の時間が設けられている
- ・ 全体で簡潔に、必要に応じて個別に伝達する

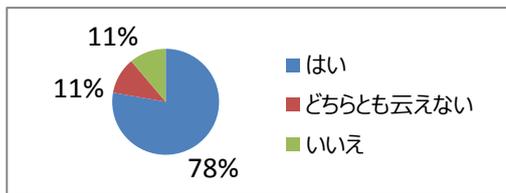
設問16 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない気付いた点を共有しているか



<意見>

- ・ ちょっとしたことでも伝えることが出来ていると思う
- ・ 職員間の差が大きすぎる為、必要性の周知・徹底が必要
- ・ 必然的に共有しているが、何もしない職員もいる
- ・ 不明点は上司に相談、支援内容は記録で共有出来ている
- ・ 出来ている人と出来ていない人の差が大きい
- ・ 必ずではないが、記録に残すことで共有出来ていると思う
- ・ 全体で振り返る時間を設定することが必要

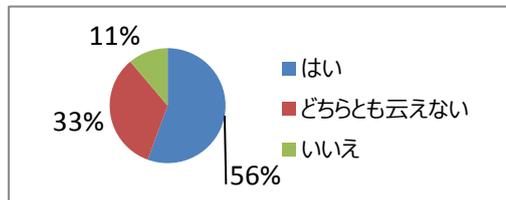
設問17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか



<意見>

- ・ 記録の意味を正しく理解し、ひとりひとりが自覚することが必要
- ・ 記録があり、前日の様子も判りやすくなっている
- ・ 注意点の伝達としては機能しているが、改善の為には活用できていない
- ・ 記録の不明点を確認する行程が徹底されていない

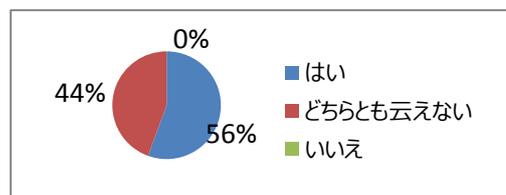
設問18 定期的にモニタリングを行ない、デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか



<意見>

- ・ 6か月に一度、必要に応じて修正・追加等の見直しを行なっている
- ・ 職員がその必要性や知識を得ることが必要
- ・
- ・

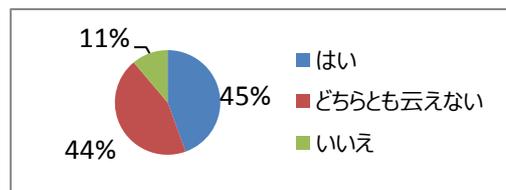
設問19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせせて支援を行なっているか



<意見>

- ・ 開所当初より意識出来ている

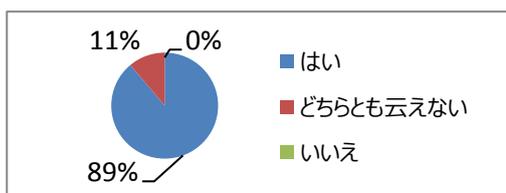
設問20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか



<意見>

- ・ 場当たりの内容の会議にしないよう配慮することが必要
- ・ 不明
- ・ 担当者会議が行われていない
- ・

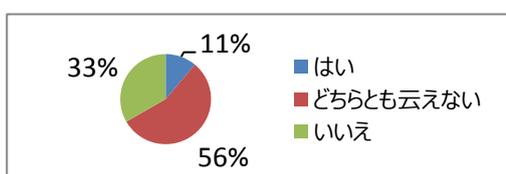
設問21 学校との情報共有、連絡調整を適切に行なっているか(行事予定・下校時刻、送迎時対応等)



<意見>

- ・ 情報共有するための情報の一元化が必要
- ・ 当日の出来事等を細かく聞くことが出来ている
- ・ 管理者が調整している
- ・ 「いつも通りです」が最もあやしいと肝に銘じている

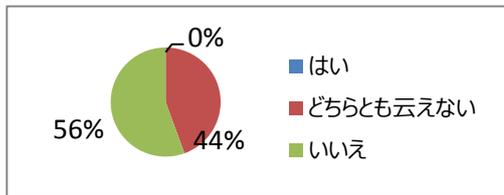
設問22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか



<意見>

- ・ いざという時に役立つ事が多いので是非連携が必要
- ・ 主治医名までの情報はあがるが、連絡体制までは出来ていない
- ・ アレルギーは把握できている
- ・ 保護者を介して対応方法・情報を得ているだけ
- ・ 経験に基づいた対応しか出来ていない

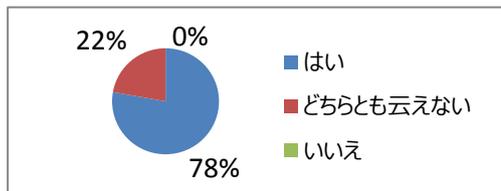
設問23 就学前に利用していた保育所や幼稚園等との間で情報共有と相互理解に努めているか



<意見>

- ・ より良い介助のため幼少期の情報が必要
- ・ 資料を渡してくれるところもあるが、なければ保護者から聞き取る
- ・ 横の繋がりを作る必要がある
- ・ 保護者を介してのみ
- ・ 小1利用開始児は特に情報が欲しい

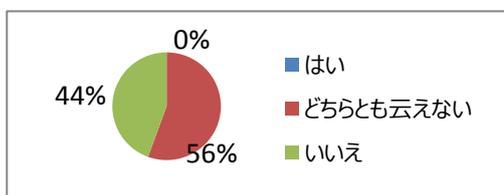
設問24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合 それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか



<意見>

- ・ 管理者がしているはず
- ・ 実行する為の環境作りが必要
- ・ 不明
- ・ 卒業後進路先への情報提供を行なっている

設問25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか



<意見>

- ・ 研修等で補えている部分もあり、その必要性が曖昧

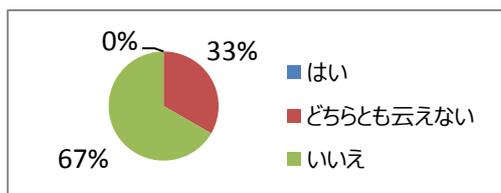
設問26 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか



<意見>

- ・ そういった機会があっても良いと思う
- ・ 公共の公園等で活動することはある
- ・ 近隣にないため出来ていない
- ・ 将来を考えると可能なら交流すべき

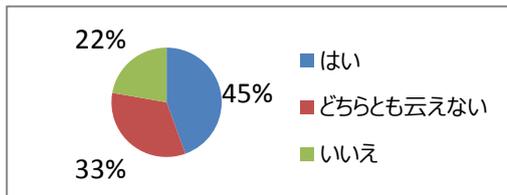
設問27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか



<意見>

- ・ 不明
- ・ 参加していない

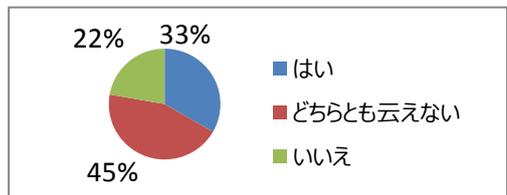
設問28 常に子どもの状況を保護者と伝え合い、発達状況や課題について共通理解を持っているか



<意見>

- ・ 一方通行や誤った認識を是正するための配慮が必要
- ・ 送迎時や連絡帳で伝達し合っている
- ・ 職員ひとりひとりのコミュニケーション能力に頼り、組織的工夫がもっと必要
- ・ 共通理解に努めている
- ・ 保護者の本音がなかなか聞けず意向に沿っているか判りにくい場合がある
- ・ 話しはしているが、共通理解を持てているか判らない

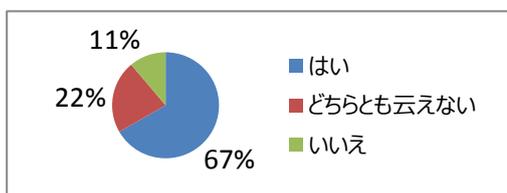
設問29 保護者の対応力向上の観点から、ペアレントトレーニング等の支援を行なっているか



<意見>

- ・ 押しつけ過ぎないように配慮して行なう
- ・ 各保護者の隠れたニーズを見過ごさぬ配慮と観察と気配り

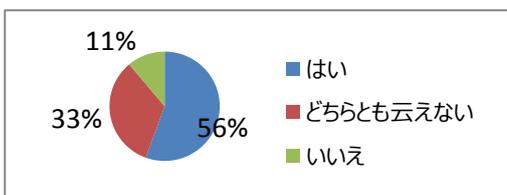
設問30 運営規程や支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか



<意見>

- ・ 複雑な説明ではなく簡単に行なう必要がある
- ・ 面談で行なえていると思う
- ・ 定期的な個人面談で実施

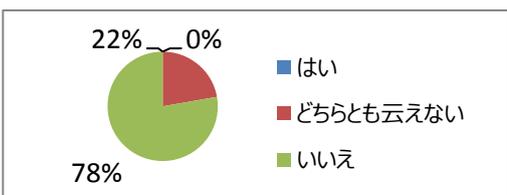
設問31 保護者からの子育ての悩み等に関する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか



<意見>

- ・ 日頃からの信頼関係が大事だと思う
- ・ 職員全員がそれを担えるだけの能力を備えることが必要
- ・ 必要な連絡や助言を伝えていると思う
- ・ 適切な助言が出来るよう努力している

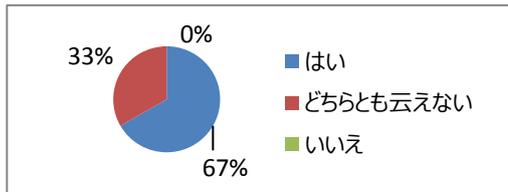
設問32 父母の会の活動を支援したり保護者会を開催する等、保護者同士の連携を支援しているか



<意見>

- ・ 保護者会はあった方が良い
- ・ 実行する為の環境作りが必要
- ・ 同じ学校の保護者は意見交換しているが、事業所としては出来ていない
- ・ 保護者会に限らず子どもと一緒に参加する活動でも良い

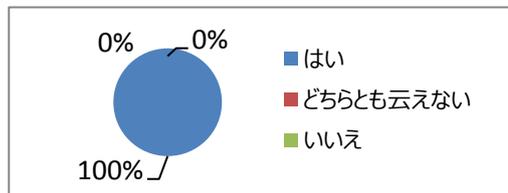
設問33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えるとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



<意見>

- ・細かい部分の意見を取り入れて対応出来ていると思う
- ・管理者と担当で迅速に対応できている
- ・苦情が言い易い環境になっているかどうか

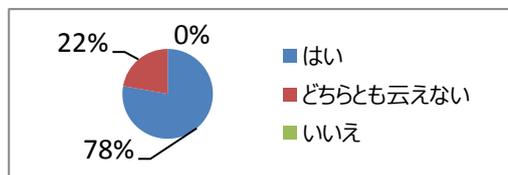
設問34 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか



<意見>

- ・サニデー通信の配付
- ・その都度行事予定を伝えている

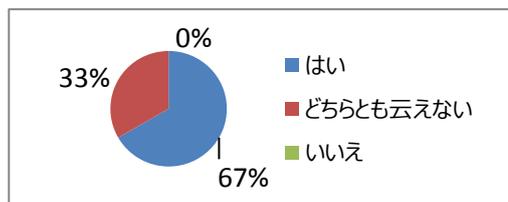
設問35 個人情報に十分注意しているか



<意見>

- ・組織的ルールはやや曖昧であるため整備する必要がある
- ・ルールを明確にし一元化が必要

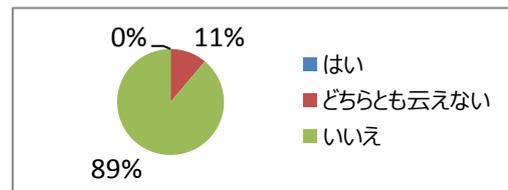
設問36 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮をしているか



<意見>

- ・配慮の努力はしているが行き届かない場合がある
- ・その配慮が職員全体に周知されていない
- ・聞き取り・伝達ともに職員個人の主観で行なわれることが多い
- ・共通認識を持つことが必要

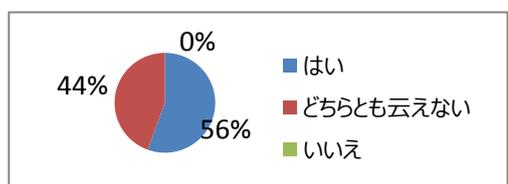
設問37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行なっているか



<意見>

- ・知ってもらう為に行なうべき
- ・どんなことをしているか等の内容を実際に見て理解してもらうのも良い
- ・年1回少人数ずつなら出来るのではない

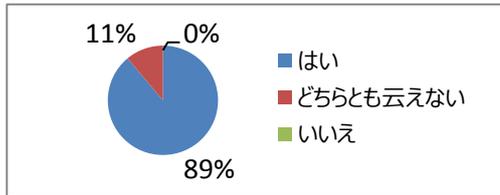
設問38 緊急時・防犯・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか



<意見>

- ・感染症等の対応案内を配付している
- ・防犯はマニュアルは作成中
- ・周知できていない

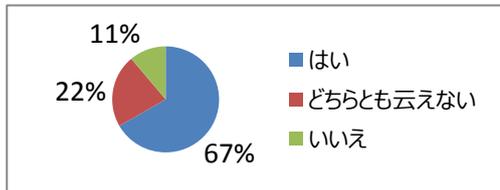
設問39 非常災害発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行なっているか



<意見>

- ・ 訓練と改善を重ねて実施できている
- ・ 地震の想定のみ実施している
- ・ 実施後の振り返りが必要

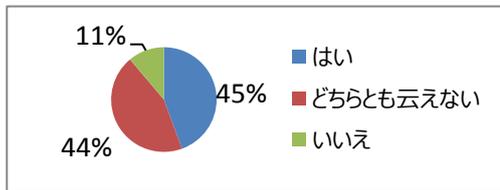
設問40 虐待防止の為、職員の研修機会を確保する等の適切な対応をしているか



<意見>

- ・ 研修だけではカバーしきれないので内部告発しやすい環境も作る
- ・ 採用契約時に説明された
- ・ 日常的に行なわれている支援も他人から見れば虐待と捉えられることもあるはずなので、定期的に行なう必要があると思う
- ・ 大きな混乱時の身体拘束対応の理解が出来ていない
- ・ 研修の機会が少ない為、その時間の確保が重要である

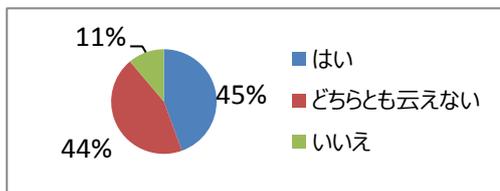
設問41 どのような場合に止むを得ず身体拘束を行なうかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明した上で放課後等デイサービス計画に記載しているか



<意見>

- ・ 情報の一元化と内容を更新していく配慮が必要
- ・ 保護者にとって衝撃的なので必要な拘束であっても十分説明すべき
- ・ 記載や説明が曖昧

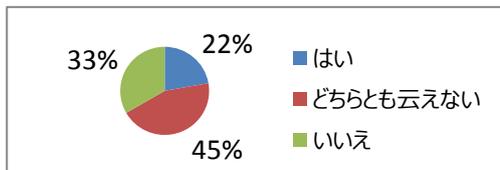
設問42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



<意見>

- ・ 医師ではなく保護者の指示を中心に取り決めを行なっている

設問43 ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか



<意見>

- ・ 記録化と周知の為、口頭だけでなく書面で残すと意識付けできるのではないかと
- ・ 事例集はないが、打ち合わせ等で共有している
- ・ 情報共有は出来ているがひとつの物にまとまてはいない